



学校だより(第6号)

校訓

明 樂 正
るく しく しく

富山市立堀川中学校

(コミュニティスクール) TEL 939-8081

富山市堀川小泉町一丁目21-15

TEL 424-3646 FAX 424-3649



堀川中ホームページ
QRコード

「お節介」のすすめ

校長 竹脇 孝志

朝の冷え込みを感じ始めた11月のとある休日、紅葉を見ようと岐阜方面に出向きました。長引いた夏の影響もあってか、標高を遡っても紅葉は進んでおらず、少々落胆した思いでとある道の駅に立ち寄りました。

ベンチに腰掛け、ご当地産の牛乳を飲みながら別の楽しみはないものかとあれこれ考えていると、すぐ前に停車しているワンボックスの半開きになったドアがゆっくりと後ろ側にスライドし、中から3、4才ほどと思われる女児がたどたどしい足取りで降りてきました。親の愛情を感じる白の上品なワンピース姿と寝起きで逆立った後ろ髪とのアンバランスに無邪気さが感じられ、あたりをきょろきょろ見渡している様子から、目が覚めると車に誰もいなくなっている状況に戸惑っているのが一目瞭然でした。

そのかわいらしさを微笑ましく思う反面、車の出入りもある場所なのにこの子の安全は大丈夫かといった心配もよぎり、親はどこだ?とあたりを見渡したところ、それらしい人物は見当たりません。「そっち危ないよ」と声をかけてはみましたが、しばらく目が合ったもののこちらのベンチ側に歩み寄ってはくれず……、かといって車にも戻ってくれません。「変顔作戦」に出てみたところ、若干興味を抱いてくれたらしく、私を凝視してしばらくその場にとどまってくれました。

「〇〇〇（子どもの名前）！なんで出てくるの！危ないでしょ！」……焦りと安堵が入り交じったようなトーンの母親の声が私の後方から聞こえてきました。

「さっき自分で降りていらっしゃって、車の出入りもあって危な……」私が説明しようとした序盤で、ためらいもなく母親はかかとを翻すのと同時に牽制のキツい視線を私に一瞬突き刺し、女児をつれて車に乗り込んでいきました。（完全に不審者扱いされた。「お節介」なんてするもんじゃない……）休日のありがたくない収穫でした。

一方「お節介」にまつわる話でこんなこともあります。当校の職員が「校長先生聞いてください。昨日、銭湯で人命救助に関わったんです。」と持ちかけてきました。

「昨日、銭湯に行ったら、高齢の方が話しかけてこられて『ねえ、あの人さつきからずっと湯船に浸かったまんじゃない？』と、その方を指さして言うんです。確かにそうだなあと思っていたら、その方が湯船に浸かったままの人に声をかけられて。すると、湯船の人が意識もうろうとした状態で、自力で上がることができないことが分かって、大騒ぎになったんです。風呂場にいた人総出で湯船から引き上げ、最初に気付いた高齢者の方が『あんたは番台さんに言うて、救急車呼んで。あんたは体拭いて、なんか着させて。あんたは水分とらせて』と、あっという間に役割分担がなされて、即席の団結力が患者を救急隊へとつないで、命が救われたんです。」（お節介が人の命を救うこともあるんだ……「お節介」ってやっぱり大事だよなあ。いい話聞いた。）

お節介とは、他人のことに過度に干渉し、余計な世話を焼く行動を指しますが、昔はこれが地域や家庭を支える大切な役割を果たしていました。特に、ご近所づきあいや知り合いの間柄では「お節介を焼く」という行為が一般的で、互いに助け合い、温かい心をもって暮らすことが重要な価値とされていました。地域社会が密接に結びつき、お互いの暮らしを支え合っていたその時代の価値観は、今でもなお、人々の心の中に息づいているものと私は信じています。

しかし、現代の日本では、かつて当たり前のように行われていた「お節介」という行為が少しづつ変化してきて、他人から干渉されることが「迷惑だ」と感じる人が増えてきました。プライバシーを重視する現代社会においては、自分の領域に踏み込まれることに不安や不快感を覚える人が多くなったからではないかと思います。また、人々がそれぞれのペースで生活することが尊重され、助けが必要なときには自分から声を上げればよいといった風潮も相まって、「お節介を焼く」という行為が、昔のように自然な形で行われることが少なくなったのではないかと思います。

それでも、私は「お節介」を否定的に見ることはできません。なぜなら、前述の銭湯での出来事を鑑みても、現代社会でこそ、お節介がもつ温かい意味や価値が再評価されるべきだと思うからです。今の社会では、メディア等を介した、いわゆるスマートなやりとりが進む一方で、そこはかとなく冷ややかで、人と人とのつながりが希薄になっていることも事実でしょう。思い思いに生きることが、「人に迷惑をかけなければ、それもあり」といった風潮も強まる中、「お節介」という行為が、もう一度見直すべき大切な文化であるように思えてなりません。今一度、その温かい心を見直し、私たちの生活の中でどう活かしていくかを考えることが、よりよい社会をつくるために必要なことではないかと思うのです。

もうじき新年を迎えます。こうしたよい意味での「お節介」が地域や学校、家庭で繰り広げられ、皆様が温かく豊かな心をもって一年を過ごされますよう、お祈り申し上げます。

人権週間と人権集会

12月2日（月）から校内人権週間を設け、朝学習の時間に、人権作文コンテストの優秀作品の朗読を校内放送し、その放送を聞きながら、全校生徒が人権について考える時間をもちました。

また、12月6日（金）には、体育館で生徒会による人権集会を行いました。朝学習の時間に放送された人権作文の感想が紹介された後、生徒会役員がシナリオを作成し、撮影・編集を行った劇を動画で視聴しました。これは、偏見がいじめにつながる内容のものでした。その後、加害者・被害者・傍観者・観衆のそれぞれで何ができたかということを考え、生徒会長は「仲裁者」になれるようにしようと全校生徒に呼びかけました。生徒一人一人が「自分にできることは何なのか」ということを考える好機となりました。



主な行事予定

<12月>

- 18日（水）学期末懇談会①
- 19日（木）学期末懇談会②
- 20日（金）学期末懇談会③
- 23日（月）学年集会
生徒集会・全校レクリエーション
- 24日（火）2学期終業式
- 25日（水）冬季休業【～1/7（火）】
- 27日（金）執務納め
- 31日（火）大晦日

<1月>

- 1日（水・祝）元日
- 6日（月）執務始め・3年実力テスト
- 8日（水）3学期始業式・書き初め大会
- 9日（木）1・2年休み明けテスト
- 13日（月・祝）成人の日
- 14日（火）3年進路懇談会【～1/16（木）】
教育相談【～1/21（火）】
- 23日（木）3年実力テスト
- 24日（金）1・2年授業参観

※本校生徒の様子について、気付かれたことがありましたら、堀川中学校まで連絡をお願いします。

（TEL 424-3646）

堀川中学校

検索

